

令和6年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第2学年	単位数	2単位
		教科書	野菜（実教出版）		
科 目	野菜	副教材	なし		
科目の目標	野菜の生産と経営に必要な資質・能力の育成を目指します。 (1) 野菜生産と経営について、体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けます。 (2) 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や関連産業に携わるための合理的かつ創造的に解決する力を養います。 (3) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	野菜の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	野菜に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、野菜の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一学期	第1章 野菜生産の役割と動向	食生活や地域の野菜栽培などの実態と変化を踏まえた具体的な事例を通して、野菜の生産と利用、野菜の需給の動向及び野菜生産と自然環境との関係について学習させ、野菜生産の役割と特性について理解する。	○			野菜の生理・生態や生育環境などの野菜生産に必要な基礎的知識と技術を身に付けている。 野菜経営に関する知識と技術を身に付けている。	・授業（座学）・ 実習への取り組み方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
	1 野菜の種類と特徴 (1) 野菜の種類と利用 (2) 野菜の分類						
	2 野菜の消費 (1) 消費動向の変化 (2) 野菜の消費量 (3) 消費の多様化						
	3 野菜の生産と供給 (1) 野菜の生産と供給のしくみ (2) 野菜栽培の生産と供給のしくみ (3) 野菜の輸入 (4) 野菜の流通						
二学期	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術	観察や実験・実習を通して、野菜の特性と栽培環境の相互関係から野菜の生育と環境の調節について理解させ、野菜生産に関する科学的な見方と実践力を養う。	○			野菜の生理・生態や生育環境などの野菜生産に必要な基礎的知識と技術を身に付けている。 野菜経営に関する知識と技術を身に付けている。	・授業（座学）・ 実習への取り組み方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
	1 野菜の生育と生理 (1) 野菜の生育 (2) 種子と発芽 (3) 茎と葉の成長 (4) 光合成のしくみと物質の生産 (5) 根の発達と肥大 (6) 葉菜類の花芽形成と抽だい						
	2 野菜の栽培環境と生育調節 (1) 光環境とその調節 (2) 温度環境とその調節 (3) 湿度環境とその調節 (4) 風・ガス環境とその調節						
	3 野菜の育苗 (1) 育苗の意義と良苗の条件 (2) 育苗・苗生産の歴史と現状 (3) 野菜苗の育苗方法 (4) 育苗技術の実際と応用 (1) 育苗培地の種類と作成法 (2) 種まきおよび個々の育苗管理技術 (3) つぎ木育苗技術 (4) セル成型苗生産とその利用						
三学期	第3章 野菜の育苗	各生育段階の環境要素並びに栽培環境と生育の調節など野菜栽培の技術の仕組みについて学習し、野菜の各生育段階における環境要素の作用に関する知識を習得させ、温度、水、日照、土壌、栄養などの各環境要素や成長調節物質が野菜の生育に影響を与えること及び肥培管理などの管理方法が野菜の生育を調節することを理解する。	○			野菜の生理・生態や生育環境などの野菜生産に必要な基礎的知識と技術を身に付けている。 野菜経営に関する知識と技術を身に付けている。	・授業（座学）・ 実習への取り組み方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
	1 育苗の目的と方法						
	2 育苗技術の実際と応用						
	3 野菜の育苗						

